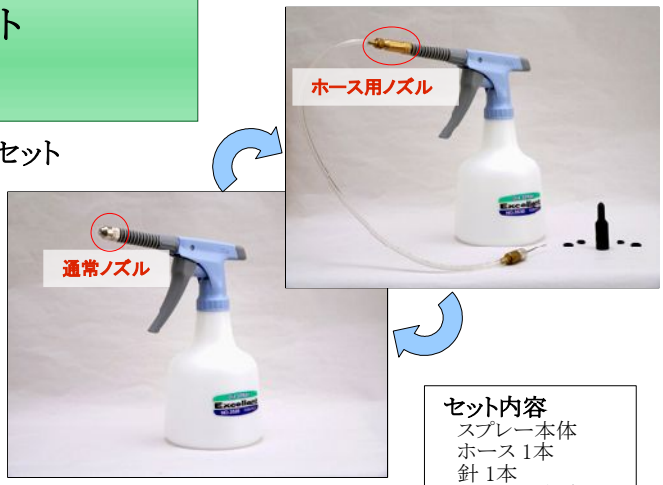
5650-0060 グリップ交換スプレーセット
取扱説明書

グリップ抜き・溶液の噴霧、いずれにも使用可能なスプレーセット



グリップ抜きだけでなく、グリップ取り付けの際のスプレーとしても使用可能な、グリップ交換スプレーセット。

ホース接続継手を用いて、ホースと針を装着し、グリップとシャフトの隙間に溶剤を送り込むためのポンプ式注射器として使用します。これにより両面テープの粘着力を弱め、抜きやすく、グリップの再利用(リグリップ)がスムーズに行えます。また、通常ノズルに付け替えることで、グリップ取り付けや清掃に便利な溶剤スプレーとしても使用可能です。

セット内容
スプレー本体
ホース 1本
針 1本
針キャップ 1個
ホース用ノズル
通常ノズル
ラバーリング
小 2個
大 2個

※本品に同梱される針は鋭利で、使用時に加圧された溶剤を吐出させます。誤って人体に刺さると危険なため、耐突刺性を備えた手袋を着用する等、十分な防備をした上でご利用下さい。なお、防護手袋は、ニトリルゴムを使用した手袋をご利用下さい。ラテックス、ゴム等によるコーティングは、溶剤で溶解することがあります。

使用方法

■使用前の準備

スプレーヘッドをタンクから外し、ご利用になる溶剤を本体に入れて下さい。商品出荷時は、上の写真のように、グリップ交換時用のホース用ノズルが取り付けられています。グリップ取付け等の汎用用途の場合は、通常ノズルに切り換えてご利用下さい。

※ネジ山の破損を避けるため、ノズルを取り付ける際は、ずれた状態で締め込まないよう、締め込みと緩めを交互に行う等、ご注意下さい。

■グリップ抜き取り(再利用時)の方法

※劣化等で伸縮性が低下したグリップは、再利用出来ない場合もありますので、ご注意下さい。

1. ホース用ノズルの先にラバーリング(小)を介してホースを取り付け、ホース先端に針を取り付けます。針用キャップの着脱時は、必ず図1のように、キャップ開口部を左右から保持して下さい。
2. シャフトクランプ等を用いて、グリップに出来るだけ近い位置で、クラブを万力等に固定します。
3. 図2のように、グリップのエンド・キャップ穴をティー等で塞ぎ、折れや曲がりに注意しながら、針をグリップエンド近くに刺します。
4. スプレーのトリガーを数回引き、溶剤をグリップと両面テープの間に送り込みます。針の刺し込み部を押さえて、逆流を防いで下さい。ヒートガン等で事前にグリップ全体を温め、両面テープが内部で剥がれ易い状態にしておくと、溶液が行き渡り易くなります。
5. 一ヶ所でグリップ全体に溶液が行き渡らなければ、別の箇所にも針を刺し、溶液を送り込みます。但し、刺す箇所間は離して、出来るだけ少ない回数で行って下さい。針を抜き取る際は、溶液が逆流する場合もありますので、慎重に作業して下さい。
6. グリップが動かせる状態になったら抜き取り、内部に残った接着剤等の残留物を取り除けば、再利用可能です。シャフト上に残った両面テープも剥がします。

■グリップ取り付け時の使用方法

・グリップ挿入前、グリップ内部に溶剤を満遍なく行き渡らせる際、本器を使用することで、使用量を節約することが出来ます。(図3)
・シャフトに貼り付けた両面テープに溶剤をかける際にも、本器を使用すれば、無駄にすることがありません。(図4)

使用可能な溶剤

有機溶剤…シンナー、アセトン、トルエン、ヘキサン、アルコール(エタノール)、ベンゼン、ベンジン、ガソリン、灯油等

有機溶剤系…パーツクリーナー、防錆剤、油性しみ抜き剤等

使用不可能な溶剤

無機薬液…塩酸、硫酸、硝酸、リン酸水溶液、過酸化水素水、アルカリ性溶液

塗料全般

その他…酸性もしくは塩素系の家庭用クリーナー、腐食性の液体等

図1

図2

※本図は図解のため、素手で行っておりますが、実際の作業は必ず防護手袋を着用して下さい。

図3

図4

Geotech
株式会社 ジオテックゴルフコンポーネント 千葉市中央区鶴沢町8-6
TEL. 0120-168-188 FAX.0120-655-188 http://www.geotechgolf.com/